

東北で多数アンカー式補強土壁工法の講習会を開催！

多数アンカー式補強土壁協会主催で国土交通省仙台河川国道事務所および磐城国道事務所の技術職員を対象に、多数アンカー式補強土壁工法の講習会を開催させて頂きました。

仙台河川国道事務所は平成 24 年 12 月 13 日に、磐城国道事務所は平成 25 年 1 月 16 日に開催し、それぞれ工法概要から設計手法、実績などを説明致しました。

多数アンカーの歴史として、昭和 48 年に「盛土安定増大工法」として旧建設省で生まれ、昭和 58 年旧建設省山口工事事務所において国内発の施工を実施したことから、平成 6 年に「多数アンカー式補強土壁の設計・施工マニュアル」が土木研究センターから発刊され、現行の「同第 3 版」に至った内容を説明し、設計手法、使用部材の合理化に取り組んだことなどにも触れました。

今年は「道路土工・擁壁工指針」（日本道路協会）も改定されましたが、多数アンカー式補強土壁工法は同改訂版に準拠しており、今後東北での工法採用に期待したい。

以上



説明会内容

- 多数アンカーの概要
- 多数アンカーの特長
 - ①盛土材の適用範囲が広い
 - ②補強材が短い
 - ③ロックアンカー
 - ④新部材の導入
- 施工事例
- 震災後の調査報告
- 地震時安定性の検証
- 健全度判定と維持補修



写真 講習会開催状況（仙台河川国道事務所）